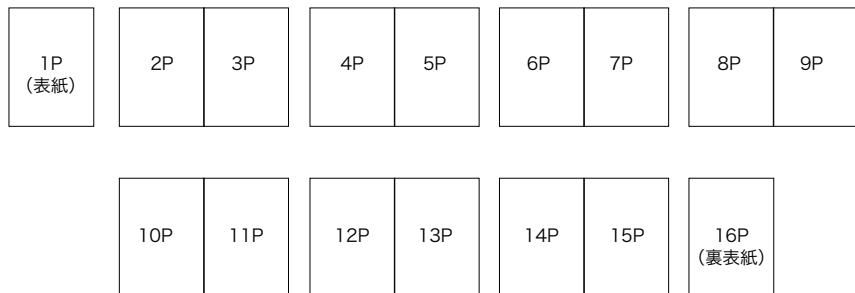


# ページの作り方

→

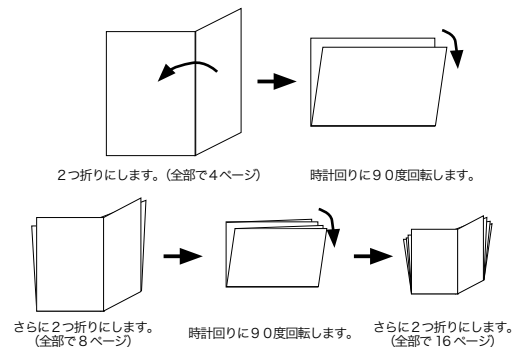
## ページ構成

1折り (16ページ)



## 本の折り方

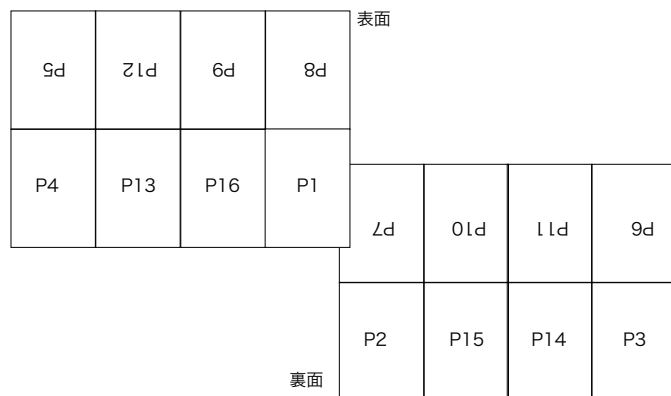
折り加工は製本をするために必要な加工で、綴じの方向 (右綴じか左綴じか) によって折り方が変わってきます。一般的には本文が縦組みの本であれば右綴じ (左開き)、横組みの本であれば左綴じ (右開き) になります。



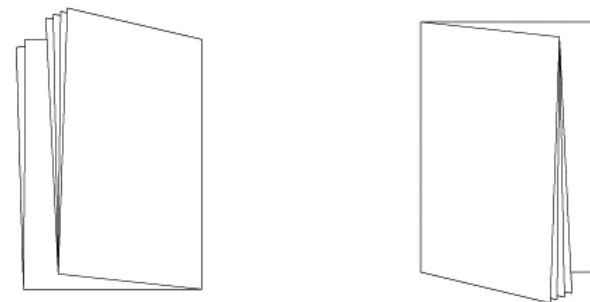
折り加工は、初めに紙の真ん中で右から左に2つ折りにして、折った紙を時計回りに90度回転します。そして、さらに紙の真ん中で右から左に2つ折ると8ページ折りになります。16ページ折りをする場合はさらに時計回りに90度回転をして右から左に2つ折りにします。なお、折った状態の紙を折りといい、1折り、2折りなどのように呼びます。

## ページの面付け

本の場合の印刷は紙の表と裏に行われるので、面付けをしたページ数の2倍が1枚の紙で印刷をするページ数になります。このような理由から、本の総ページ数は16ページの倍数になっています。上記のページが下図のように並びます。



## 右綴じと左綴じ



縦組みの本では折った紙の閉じた側を右、袋状になった側を下にする「右綴じ地袋」にするのが基本になります。

横組みの本では折った紙の閉じた側を左、袋状になった側を上にする「左綴じ天袋」にするのが基本になります。